

事務事業実績測定調書

R5調書番号 577

事務事業名称	地産地消推進事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	観光にぎわい部			課	農業振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		22.農を守り、生かすまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2012(H24)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内小学校の児童			
	サブターゲット	枚方産の野菜や米を栽培する農業者			
	ターゲットが抱える課題	環境にやさしい枚方産の農作物を食べる機会が少ない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	環境にやさしい枚方産の野菜やエコレンゲ米を学校給食へ供給することで、児童の健康の一助となり、食育に 対する意識向上や地産地消につながっている。				
事業概要	市がJA北河内と委託契約をしている学校給食生鮮農産物供給事業において、北河内産エコレンゲ米及び枚方産野菜を供給する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		児童が枚方産野菜(大阪エコ農産物)や米を食する機会が増加し、食育の意識向上や地産地消の推進につながる。				学校給食に枚方産野菜(大阪エコ農産物)や米が使われる。				枚方産野菜(大阪エコ農産物)や米を学校給食へ供給する。				
指標設定	指標説明	学校給食への枚方産野菜(大阪エコ農産物)や米の供給割合 【算出式:枚方産野菜(大阪エコ農産物)や米の購入量/全体購入量×100】				学校給食での枚方産野菜(大阪エコ農産物)と米の購入量				学校給食への枚方産野菜(大阪エコ農産物)と米の供給品目数				
		単位		%		単位		t		単位		品目		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	12	12	12	13	65	66	67	68	22	23	24	25
		実績	5	5	5	4	21	28	25	25	20	16	19	17
達成度		31%				37%				68%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.24
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,279	2,265	1,895		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,279	2,265	1,895		
	物件費計	2,650	2,400	2,400	2,400	100.0%
歳出計		4,929	4,665	4,295		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	135	0	0	525	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	135	0	0	525	
一般財源（物件費に充当されるもの）		2,515	2,400	2,400	1,875	

5. 総括的分析

総括的分析	令和4年度に続き、令和5年度においても、学校給食への米の納入停止等により、供給量が減少した。アンケートにより、学校給食に地元の食材が使われている場合に、食に対する関心が高まるという結果が出ていることから、地産地消を推進するため、引き続き地元農産物を学校給食に供給することが求められる。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、地元農産物を学校給食へ供給し、食育に対する意識向上や地産地消につなげていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 582

事務事業名称	農業ふれあい体験事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	観光にぎわい部			課	農業振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		22.農を守り、生かすまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1994(H6)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市ふれあいツアー推進協議会規約				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	日常的に農業と触れ合う機会がない市民			
	サブターゲット	市内小学校の児童			
	ターゲットが抱える課題	農業にふれあう機会が少ない			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	農作物の収穫体験等を通じて市民の農業への理解や関心が高まるとともに、地産地消の推進につながっている。				
事業概要	農家が栽培した農産物の収穫体験イベントの実施や、小学生を対象とした食農体験学習(農作物の植え付け、収穫、試食など)を実施する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		農業にふれあう機会が増え、市民の農業への理解や関心が高まるとともに、地産地消が推進される。				市民が農業ふれあいツアーに参加する。				農業ふれあいツアーの内容を充実させる。				
指標設定	指標説明		ふれあいツアーに初参加する人の割合 【算出式: 初参加者数/参加者数×100】				ふれあいツアーの参加者数				収穫体験可能な作物種類の数			
			単位		%		単位		人		単位		種類	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	30	30	30	30	1,200	1,250	1,300	1,350	8	9	10	11
		実績	0	54	10	56	0	657	1,640	1,633	0	6	8	8
達成度		187%				121%				73%				

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
ロジックモデル②		農業にふれあう機会が増え、市民の農業への理解や関心が高まるとともに、地産地消が推進される。				小学生が食農体験学習に参加することで、農への関心が高まる。				食農体験学習に対する支援を行う。				
指標設定②	指標説明	ふれあいツアーに初参加する人の割合 【算出式: 初参加者数/参加者数×100】				食農体験学習を実施した小学校数				食農体験学習の協力農家数				
	単位		%		単位		校		単位		軒			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	30	30	30	30	13	14	15	16	11	12	13	14
		実績	0	54	10	56	0	5	8	10	0	5	7	8
達成度		187%				63%				57%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.24
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,279	2,265	1,895		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,279	2,265	1,895		
歳入	物件費計	1,273	2,131	2,412	2,850	84.6%
	歳出計	3,552	4,396	4,307		
	国庫支出金	0	275	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	275	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		1,273	1,856	2,412	2,850	

5. 総括的分析

総括的分析	ふれあいツアー参加者は前年並みであるが、初参加の割合は大きく増加している。また、食農体験参加者のアンケート結果では、食農の体験をした小学生の地産地消への意識が高まっており、地産地消の推進につながっているものと認識している。一方で、農業者の高齢化、後継者・担い手不足、都市化に伴う農地の減少等により、各地区とも事業継続が困難な状況になりつつある。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	本事業は農業者の協力が不可欠であることから、引き続き農業者への事業協力を求め、実施していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 583

事務事業名称	農業の産業化促進事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	観光にぎわい部			課	農業振興課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	○	R3	○	R4		R5	
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		22.農を守り、生かすまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	R4年度(2022年度)	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	農業の産業化に取り組む農業者			
	サブターゲット	農業者と連携して農業の産業化に取り組む商業者、大学			
	ターゲットが抱える課題	特産物の創出や6次産業化に取り組むためには、多大な労力や費用が掛かるとともに、取り組み後に収益を生む担保性の確保ができない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	都市農業の強みを生かし、市民が新鮮で環境にやさしい市内農産物を手軽に入手することができるとともに、全国にも知名度の高い本市の農業特産物や6次産業化による商品が販売されている。				
事業概要	農業振興協議会での事業も含め、以下の内容について取り組む。 ・6次産業化による商品開発や販路拡大に向けた周知・PR ・エコ農産物や地産地消の推進に向けた普及啓発 ・農業特産物の創出や販路拡大に向けた周知・PR				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		農業特産物や6次産業化による商品の販売により、農業の産業化につながる				6次産業化により商品開発を行う				6次産業化を検討する				
指標設定	指標説明	6次産業化による商品の売上金額				6次産業化により製作した商品数				連携して6次産業化に取り組んだ団体数				
	単位		千円		単位		種類		単位		団体			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)			3,500	4,500			3	4			3	4
		実績			3,570	18,476			4	3			4	3
達成度		411%				75%				75%				

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		農業特産物や6次産業化による商品の販売により、農業の産業化につながる				大阪産(おおさかもん)に登録し、周知啓発を行う				農業特産物を検討する			
指標設定②	指標説明	6次産業化による商品の売上金額				大阪産(おおさかもん)登録数				連携して農業特産物の栽培に取り組んだ農業者数			
		単位 千円				単位 種類				単位 人			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)			3,500	4,500			2	3			12	14
		実績		3,570	18,476			1	1			15	15
		達成度	411%			33%			107%				

3. 人員体制
(人)

	R5実績
正職員	0.25
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額
(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	1,953	1,974		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	1,953	1,974		
	物件費計	0	0	0	0	
歳出計		0	1,953	1,974		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費に
	府支出金	0	0	0	0	ついては、人員配置
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	をもとに平均人件費
	市債	0	0	0	0	を乗算しています。
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件
歳入計(物件費に充当される特定財源)		0	0	0	0	費に充当されるもの
一般財源(物件費に充当されるもの)		0	0	0	0	のみを記載していま

5. 総括的分析

総括的分析	摂南大学農学部のももちゃんサイダー、ももサワー、枚方産さつまいもたい焼きの商品化に、市内農業者、商業者と連携して取り組んだ。また、これまでの6次産業化を発展させて、農林水産物や農林水産業に関わる多様な地域資源を活用し、新事業や付加価値を創出することによって、農山漁村における所得と雇用機会の確保を図る取組として、令和6年3月に枚方市農山漁村発イノベーション推進戦略を策定した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、人材の発掘や消費者ニーズを的確に捉えた商品開発、ブランド化に取り組む他、市内の店舗にて農林産物加工品の販売の拡大等を図る。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 586

事務事業名称	森林環境保全事業											
測定年度	2023(R5)年度			部	観光にぎわい部			課	農業振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち										
	施策目標	23.豊かな自然環境を大切にするまち										
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	R2年度(2020年度)		年度	～	年度まで
根拠法令等	森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律、森林法、森林経営管理法				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	森林の所有者			
	サブターゲット	森林が有する多様な効果を享受する市民			
	ターゲットが抱える課題	高齢化が進み、後継者が不足する中、近年の台風災害等による倒木被害や竹林面積の拡大等に対応し、適切に森林を管理し続けることが困難。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	森林環境保全事業を実施することで、森林整備が進み適切な管理につながるとともに、森林が有する効果を市民全体が享受できる。				
事業概要	多様な機能を有する森林を効果的に保全するため森林環境税が創設され、地方自治体に収入額全額が森林環境譲与税として譲与されることとなった。税の徴収は令和6年1月1日から開始となるが、森林現場の課題に早期に対応する観点から、森林環境譲与税は前倒しで令和元年度より譲与されている。森林環境譲与税の用途は、森林整備や木材利用の普及・促進であり、本市においては「枚方市森林環境基金」を設置し、法令に基づく森林環境保全事業の執行と財源の管理を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム （活動効果）				アウトプット （活動結果）				インプット （活動）							
		森林環境譲与税を効果的に活用することで、適切な森林環境の保全につながっている。				洗い出した候補事業のうち優先順位の高い森林環境保全事業を実施する。				効果的な森林環境保全事業候補を照会により洗い出す。							
指標設定	指標説明	森林環境譲与税を活用して実施した森林整備延面積				森林環境譲与税を活用した事業実施件数				森林環境譲与税の活用可能な候補事業件数							
		単位		ha		単位		件		単位		件					
		指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
	指標数値	R2R3R4R5				R2R3R4R5				R2R3R4R5							
		目標（見込み）				10041527				3333				5555			
		実績				34.2010.5026.31				1345				1345			
	達成度		97%				167%				100%						

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.44
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,457	3,437	3,474		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,457	3,437	3,474		
歳入	物件費計	51,092	58,587	58,480	59,912	97.6%
	歳出計	54,549	62,024	61,954		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	51,092	80,798	81,161	85,623	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	51,092	80,798	81,161	85,623	
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	森林環境贈与税については対象範囲が多岐にわたる。庁内ではある程度認知されており、今後木材利用に関する事業も見込まれる。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	森林環境贈与税の効果的な活用に向けて、引き続き適正な執行に努める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 594

事務事業名称	公共施設維持管理補助事業												
測定年度	2023(R5)年度			部	観光にぎわい部			課	農業振興課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち										
	施策目標		22.農を守り、生かすまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1992(H4)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市公共施設維持管理事業補助金交付要綱				
関係補助金名称	公共施設維持管理事業補助金		サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	土地改良区			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	土地改良施設の適切な維持管理を推進し、農業の生産性向上等を図るためには多大な労力や費用がかかる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	土地改良施設が適切に維持管理されることで、農業生産基盤の維持が図られるとともに地域住民の安全につながっている。				
事業概要	土地改良区が実施する土地改良施設の維持管理事業等に対して支援する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		農業生産基盤の維持が図られるとともに、水路等の適正な管理により地域住民の安全を確保する。				公共施設維持管理事業補助金を交付することで、土地改良区が所管する土地改良施設が適切に維持管理される。				公共施設維持管理事業補助金の交付申請を受け付ける。			
指標設定	指標説明	土地改良施設の維持管理に起因する地域住民の被害件数				公共施設維持管理事業補助金の交付決定件数				公共施設維持管理事業補助金の交付申請受付件数			
		単位 件				単位 件				単位 件			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	0	0	0	0	11	11	11	11	11	11	11	11
		実績	0	0	1	0	11	10	11	11	11	10	11
達成度						100%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.17
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,336	1,328	1,342		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,336	1,328	1,342		
歳入	物件費計	6,651	4,693	4,695	4,700	99.9%
	歳出計	7,987	6,021	6,037		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		6,651	4,693	4,695	4,700	

5. 総括的分析

総括的分析	本事業は、農業生産基盤の維持のために重要であるため、各土地改良区が実施する土地改良施設の維持管理事業等を引き続き支援することが求められる。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	農業生産基盤を維持するとともに地域住民の安全を確保するため、引き続き実施する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 596

事務事業名称	土地改良事業補助事業												
測定年度	2023 (R5) 年度			部	観光にぎわい部			課	農業振興課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標			4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち									
	施策目標			22.農を守り、生かすまち									
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2004 (H16) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市土地改良事業等補助金交付要綱				
関係補助金名称	土地改良事業等補助金			サンセット	2023 (R5) 年度 ～ 2025 (R7) 年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	農業生産基盤を整備する農業団体(土地改良区、水利組合等)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	農業団体が実施する農業生産基盤の整備等を支援することで、農業の生産性が向上し農空間の保全及び農業振興に資するとともに、水路等の適正な管理により地域住民の安全につながっている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	農業団体が実施する農業生産基盤の整備等を支援することで、農業の生産性が向上し農空間の保全及び農業振興に資するとともに、水路等の適正な管理により地域住民の安全につながっている。				
事業概要	農業団体(土地改良区、水利組合、地域の水利団体)が実施する土地改良事業に対して支援するほか、老朽ため池改修事業の実施やため池ハザードマップを作成する。 ・ため池防災テレメーターの設置 ・老朽ため池整備事業の期間延長と増額				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		農空間の保全及び農業振興に資するとともに、水路等の適正な管理により地域住民の安全を確保する。				土地改良事業補助金を交付することで農業生産基盤の整備を促進する。				土地改良事業補助金の交付申請を受け付ける。			
指標設定	指標説明	農業生産基盤に起因する地域住民の被害件数				土地改良事業補助金の交付決定件数				土地改良事業補助金の交付申請受付件数			
	単位		件		単位		件		単位		件		
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	0	0	0	0	20	20	20	20	20	20	20
実績		0	0	1	0	9	21	14	15	9	21	16	15
達成度						75%				75%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.70
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,814	5,781	5,527		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,814	5,781	5,527		
歳入	物件費計	43,232	21,960	9,973	17,091	58.4%
	歳出計	49,046	27,741	15,500		
	国庫支出金	0	0	0	0	
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	500	3,500	10,100	
	その他	15,622	1,340	0	1,800	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	15,622	1,840	3,500	11,900	
一般財源（物件費に充当されるもの）		27,610	20,120	6,473	5,191	

5. 総括的分析

総括的分析	引き続き、農業団体が実施する農業生産基盤の整備等を支援し、農業の生産性が向上し農空間の保全及び農業振興に資するとともに、水路等の適正な管理により地域住民の安全に繋げることが必要。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	補助対象団体からの個別改修要望は今後も増加することが見込まれるため、事前に各団体の改修予定を把握し、予算の範囲内で計画的な基盤整備を促進する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 597

事務事業名称	農業被害対策事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	観光にぎわい部		課	農業振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標	24.まちなかのみどりを育てるまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2017 (H29) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市農業被害防止対策連絡協議会規約				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	有害鳥獣(イノシシ)により、農業被害を受けている農業者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	個人で講じられる対策には限界がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	有害鳥獣(イノシシ)の捕獲処分により、農業被害がなくなり、安全な耕作につながっている。				
事業概要	有害鳥獣(イノシシ)の捕獲処分を行う。 ・枚方市イノシシ被害防止対策補助事業の実施(新規) 電気柵・金網等の設置にかかる費用の一部を支援することで、イノシシの侵入を防ぐ防護柵の設置を促進する。 (内容の概略)mあたり単価×延長又は購入金額の1/2のいずれか安価な額を支援				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			農業被害がなくなる。				有害鳥獣(イノシシ)の捕獲処分を行う			
指標設定	指標説明		有害鳥獣(イノシシ)による農業被害額				有害鳥獣(イノシシ)の捕獲頭数			
			単位				単位			
	指標種類		減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		150	100	50	0	40	40	40	40
	実績		364	388	340	0	29	25	28	30
達成度							75%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.05
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,069	391	395		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,069	391	395		
歳入	物件費計	1,144	665	469	1,850	25.4%
	歳出計	2,213	1,056	864		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		1,144	665	469	1,850	

5. 総括的分析

総括的分析	イノシシ被害防止対策補助事業の効果もあり、有害鳥獣による農業被害額が0となった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、農業者による電気柵や金網の設置費用を補助するイノシシ被害防止対策補助事業とイノシシを捕獲するための調査、許可申請、捕獲処分を大阪府猟友会へ委託する農業被害防止対策業務委託事業の両面で、イノシシによる農業被害額の減少に努める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 638

事務事業名称	穂谷地区農空間活用支援事業										
測定年度	2023 (R5) 年度			部	観光にぎわい部			課	農業振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		22.農を守り、生かすまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2007 (H19) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称	穂谷地区農空間活用支援事業補助金			サンセット	2021 (R3) 年度 ～ 2023 (R5) 年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	穂谷地区の農業者団体や景観形成作物を栽培する農業者			
	サブターゲット	穂谷地区を訪れ、農とのふれあいやコスモスの花摘み等を楽しむ市民			
	ターゲットが抱える課題	地域活性化のための取り組みを実施するためには経済的な負担が大きい。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	北河内唯一の農業振興地域である穂谷地区に、多くの市民が訪れて豊かな自然環境や農産物等にふれあうことで、穂谷地区の農業振興や農空間の保全、地域の活性化につながっている。				
事業概要	・コスモス・ひまわりなど景観形成作物の作付け面積に応じて補助を行う。道路に隣接する農地に一団あたり30a以上作付し、花摘みなど市民が楽しめること等が要件。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム （活動効果）				アウトプット （活動結果）				インプット （活動）				
		穂谷地区の農業振興や農空間の 保全、地域の活性化につながる。				観光資源として活用される。				景観形成作物を栽培し良好な景 観を形成する。				
指標設定	指標説明	景観形成作物を栽培することで、 穂谷地区を訪れる市内外の来場 者数				景観形成作物の栽培面積				穂谷地区農空間活用支援事業交 付件数				
	単位		人		単位		ha		単位		件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 （見込み）	2,700	2,800	2,900	3,000	3	2	3	2.50	11	11	11	11
		実績	2,529	2,700	4,128	3,719	3.52	1.88	2.33	2	0	9	11	10
達成度		124%				80%				91%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.18
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,414	1,406	1,421		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,414	1,406	1,421		
歳入	物件費計	751	931	838	1,300	64.5%
	歳出計	2,165	2,337	2,259		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		751	931	838	1,300	

5. 総括的分析

総括的分析	令和5年度は、令和4年度に比べ高温・干ばつなどの影響もあり、申請者数及び栽培面積が減少したが、東部地域活性化に向けた取り組みとして、黒枝豆などの農産物の販売やサツマイモ・トウモロコシの収穫体験などイベントとも連携し、来場者数の実績は目標を上回ることができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	令和6年度以降も引き続き、東部地域活性化の取り組みとして、穂谷地区の景観形成作物(コスモス・ひまわり)を観光資源として捉え、地元農産物の販売や収穫体験などのイベントとも連携し、北河内唯一の農業振興地域である穂谷地区の農空間を活用していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 659

事務事業名称	経営所得安定対策等推進事業補助事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	観光にぎわい部			課	農業振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち							
	施策目標		22.農を守り、生かすまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事业	区分	非選択的事務事業
事業期間	1979(S54)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	経営所得安定対策等実施要綱・経営所得安定対策等推進事業実施要綱 他				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	農業従事者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	天候の影響や販路の担保性が低い等により、経営に対する不安要素が多い。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	経営所得安定対策推進事業により農業従事者を支援することで、経営の安定が図られ、農地の維持につながっている。				
事業概要	枚方市農業再生協議会(市、JA北河内、農業委員会、大阪府農業共済組合で構成)の一員として、経営所得安定対策等推進事業の周知を行い、申請者に対し補助金を交付する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						経営所得安定対策等推進事業費補助金を交付する。				経営所得安定対策等推進事業の周知を図る。			
指標設定	指標説明					経営所得安定対策等推進事業費補助金の交付決定人数				経営所得安定対策等推進事業を周知した水田所有者数			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)				20	20	20	20	1,600	1,600	1,600	1,600
		実績				25	24	26	28	1,644	1,647	1,601	1,524
達成度						140%				95%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.50
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.46
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,121	4,531	3,948		
	会計年度任用職員	727	446	677		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,848	4,977	4,625		
	物件費計	269	2,011	324	300	108.0%
歳出計		3,117	6,988	4,949		
歳入	国庫支出金	2,448	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	269	2,448	1,078	1,197	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	269	2,448	1,078	1,197	
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	農業者の高齢化もあり、水田を所有する農業者は今後減少していくことも想定される。また、本事業の条件を満たしていても申請内容が煩雑であるため、申請を躊躇する農業者もいる。農業者の金銭的負担が軽減されることで、新たな農作物の生産を行うことに繋がれば、本市農業の発展に寄与することから、申請時の農業者へのサポートが求められる。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	国の事業であり、現状通り推進する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 661

事務事業名称	新規就農者育成支援事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	観光にぎわい部			課	農業振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		22.農を守り、生かすまち								
	実行計画名		22-1.新規農業者の育成								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2012 (H24) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	新規就農・経営継承総合支援事業実施要綱 枚方市新規就農者経営安定化支援事業補助金交付要綱 枚方市新規就農者サポート事業に関する要綱 枚方市新規就農者農地集積支援事業奨励金交付要綱				
関係補助金名称	新規就農者農地集積支援事業奨励金 新規就農者経営安定化支援事業補助金 新規就農者確保事業補助金		サンセット	2023 (R5) 年度	～ 2025 (R7) 年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	就農に関心のある市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	就農に関心はあるが、農業の知識や経験がなく、また、就農後の所得が安定しないなど不安要素が多い			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	新たな農の担い手となる市民育成をサポートすることで、遊休農地の解消や都市農業のさらなる振興につながるっている。				
事業概要	新たな担い手の掘り起こしを行い、就農につながるまでのフォローを行うとともに、認定新規就農者に対する補助金の交付や就農初期における技術指導のサポートや農地確保の支援等を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		遊休農地などの解消につながり、 都市農業のさらなる振興が図られ る。				新たな農の担い手が就農可能な 状態となる				農業に関心のある新たな担い手を 支援する			
指標設定	指標説明	遊休農地面積				準農家登録申請者数(延べ)				準農家登録希望の相談者数			
	単位		a		単位		人		単位		人		
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	55	50	45	40	2	3	4	5	2	2	2
実績		12	18	277	205	2	4	7	11	2	4	3	2
達成度		-313%				220%				100%			

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		遊休農地などの解消につながり、都市農業のさらなる振興が図られる。				新規就農者農地集積支援事業奨励金を交付することで農地の集積が図られる。				新規就農者農地集積支援事業奨励金の交付申請を受け付ける。			
指標設定②	指標説明	遊休農地面積				新規就農者農地集積支援事業奨励金の交付決定件数				新規就農者農地集積支援事業奨励金の交付申請受付件数			
	単位		a		単位		件		単位		件		
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	55	50	45	40	4	1	1	1	4	1	1
	実績	12	18	277	205	1	2	3	0	2	2	3	0
	達成度	-313%				0%				0%			
ロジックモデル③		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		遊休農地などの解消につながり、都市農業のさらなる振興が図られる。				農業次世代人材投資事業補助金を交付することで、次世代を担う就農者の経営基盤が安定し、定着が図られる。				農業次世代人材投資事業補助金の交付申請を受け付ける。			
指標設定③	指標説明	遊休農地面積				農業次世代人材投資事業補助金の交付決定件数				農業次世代人材投資事業補助金の交付申請受付件数			
	単位		a		単位		件		単位		件		
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	55	50	45	40	4	1	1	1	4	1	1
	実績	12	18	277	205	4	3	4	2	4	3	4	2
	達成度	-313%				200%				200%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.19
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,493	1,484	1,500		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,493	1,484	1,500		
	物件費計	9,200	10,738	7,852	11,820	66.4%
歳出計		10,693	12,222	9,352		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	4,500	5,280	3,000	6,000	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	4,500	5,280	3,000	6,000	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		4,700	5,458	4,852	5,820	

5. 総括的分析

総括的分析	令和5年度については、準農家候補者2名の申請があったが、認定新規就農者については、新たな認定がなかったことから、新規就農者農地集積支援事業奨励金の交付決定件数も0件となっている。現在、市内では準農家候補者登録に必要な研修規定を満たした施設が2箇所あることから、その施設と連携した取り組みが効果的である。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	農業の担い手が減少する中で、持続可能な農業を実現するには、新規就農者を含めた次世代を担う農業を担う者の育成・確保に取り組むことが求められる。そのため、令和6年度から準農家候補者登録に必要な研修規定を満たした施設と連携して、新たな新規就農者等の確保に取り組むとともに、継続的かつ安定的な研修が行えるよう研修機関に対する支援を行う。また、新たに就農相談窓口を設置し、研修機関やサポートチームと連携し、農業への人材の呼び込みから、就農相談、研修、就農後の定着までの各段階において支援することで、総合的な就農サポート体制を構築する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 666

事務事業名称	多面的機能支払交付金事業										
測定年度	2023 (R5) 年度			部	観光にぎわい部			課	農業振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		22.農を守り、生かすまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業	
事業期間	2013 (H25) 年度		年度	～	年度まで	
根拠法令等	多面的機能支払交付金交付要綱					
関係補助金名称	多面的機能支払交付金事業補助金			サンセット	2023 (R5) 年度	～ 2025 (R7) 年度
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	穂谷地区の農業団体(穂谷地区農空間保全協議会)				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	農地・農業用水等を適正に管理するためには経済的負担が大きい。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	集落機能の維持向上や地域主体の保全管理の取り組みを支援することで、農地・農業用水等の資源の適正な保全管理が行われ、農地の多面的機能の保全につながっている。					
事業概要	国の事業である「多面的機能支払交付金」を活用し、集落機能の維持向上や地域主体の保全管理の取り組み強化につながる農地・農業用水等の資源の保全管理活動を支援する。					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		農空間が持つ多面的機能が持続的に発揮される。				多面的機能支払交付金事業補助金を活用して農地・農業用水等の資源の保全管理や環境保全を図る。				多面的機能支払交付金事業補助金の申請に対する交付を決定する。				
指標設定	指標説明	支援した地域の遊休農地の割合 【算出式: 支援した地域の遊休農地面積/全体農地面積×100】				交付金を活用して保全した農地面積				多面的機能支払交付金の交付件数				
	単位		%		単位		a		単位		件			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	0	0	0	0	2,654	2,654	2,654	2,654	1	1	1	1
		実績	0	0	0	0	2,654	2,654	2,654	2,654	1	1	1	1
達成度						100%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.14
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,100	1,094	1,105		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,100	1,094	1,105		
歳入	物件費計	1,680	1,531	1,869	2,137	87.5%
	歳出計	2,780	2,625	2,974		
	国庫支出金	0	0	0	0	
歳入	府支出金	1,260	1,149	1,402	1,600	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	1,260	1,149	1,402	1,600	
一般財源（物件費に充当されるもの）		420	382	467	537	

5. 総括的分析

総括的分析	集落機能の維持向上や地域主体の保全管理の取り組みを支援することで、農地・農業用水等の資源の適正な保全管理が行われた。また、農業者では対応困難な農業用施設の補修費用が、令和3年度から上乘せされて交付されることとなり、農地のさらなる多面的機能の保全につながっている。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律に基づき、引き続き事業に取り組む。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 676

事務事業名称	農業振興事業									
測定年度	2023 (R5) 年度			部	観光にぎわい部			課	農業振興課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち							
	施策目標		22.農を守り、生かすまち							
	実行計画名		22-1.新規農業者の育成							

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1994 (H6) 年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	農業経営基盤強化促進法、決裁				
関係補助金名称	農業振興事業補助金			サンセット	2023 (R5) 年度 ～ 2025 (R7) 年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	意欲的で府・市が認定する農業者（地域の中心となる農業者）			
	サブターゲット	直販会等に来場する市民			
	ターゲットが抱える課題	高齢化が進み後継者が不足する中、農地を適正に管理し続けることは困難。また、天候の影響や販路の担保性が低い等により、経営に対する不安要素も多い。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	意欲的な農業者を支援することで、農地を適正に管理するとともに、地場産野菜の普及（販売の拡大）等につながっている。				
事業概要	・地域農政推進対策事業（農業経営基盤強化促進法に基づく事務等） ・利用権設定や認定農業者等に係る事務 ・直販事業や農業施設設置に対する支援 ・直販会や品評会等の開催 等				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム （活動効果）				アウトプット （活動結果）				インプット （活動）							
		意欲的な農業者を支援することで、農地を適正に管理するとともに、地場産野菜の普及（販売の拡大）等につながっている。				直販事業が開催される				直販事業を実施する団体を支援する							
指標設定	指標説明	農業振興事業の売上額				実施された直販事業の開催回数				支援した直販事業の実施団体数							
	単位		千円		単位		回		単位		団体						
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標						
	指標数値	R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
		目標 （見込み）		9,400	9,500	9,600	9,700	745	750	755	760	9	9	9	9		
		実績		6,262	8,007	8,811	10,044	709	590	535	547	8	8	8	9		
達成度		104%				72%				100%							

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		意欲的な農業者を支援することで、農地を適正に管理するとともに、地場産野菜の普及(販売の拡大)等につながっている。				農業者のエコ農産物に関する知識や技術が高まる。				エコ農産物の営農技術や流通量の拡大について指導する。			
指標設定②	指標説明	農業振興事業の売上額				エコ農産物に関する講習会の受講者数				エコ農産物に関する講習会の開催回数			
	単位		千円		単位		人		単位		回		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	9,400	9,500	9,600	9,700	500	500	500	500	13	13	13
実績		6,262	8,007	8,811	10,044	375	362	353	321	4	4	4	4
達成度		104%				64%				31%			
ロジックモデル③		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		意欲的な農業者を支援することで、農地を適正に管理するとともに、地場産野菜の普及(販売の拡大)等につながっている。				市民が来場する。				「フレッシュ野菜プチマルシェ」を開催する。			
指標設定③	指標説明	農業振興事業の売上額				開催回数				開催館数			
	単位		千円		単位		回		単位		館		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	9,400	9,500	9,600	9,700	8	8	8	8	4	4	4
実績		6,262	8,007	8,811	10,044	0	0	0	0	0	0	0	0
達成度		104%				0%				0%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,071	8,203	7,895		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	7,071	8,203	7,895		
歳入	物件費計	2,679	2,601	3,567	4,320	82.6%
	歳出計	9,750	10,804	11,462		
	歳入計 (物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	
一般財源 (物件費に充当されるもの)		2,679	2,601	3,567	4,320	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んでいた直販事業の売上高はコロナ禍前に戻りつつある。農業者の高齢化に伴い直販回数は減少傾向であるものの、市民の「新鮮で安全な美味しい地元農産物」を求めるニーズは高いと考えられる。また、令和5年度から直販事業の実施団体に、北河内伝統野菜協議会が加わった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、直販団体への支援を行うほか、新規就農者にも直販団体への加入を促していく。また、市民には、価格ではなく、新鮮で安全な美味しい地元農産物を選んでいただけるよう広報面でPRしていく。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 677

事務事業名称	里山保全事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	観光にぎわい部			課	農業振興課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標	23.豊かな自然環境を大切にすまち								
	実行計画名	23-1.里山の保全								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2001 (H13) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市里山保全活動補助金交付要綱				
関係補助金名称	里山保全活動補助金		サンセット	2023 (R5) 年度	～ 2025 (R7) 年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	里山を保全する市民・市民団体等			
	サブターゲット	里山やみどりの効果で恩恵を受ける市民			
	ターゲットが抱える課題	里山保全する市民、団体等の固定化及び高齢化			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	多様な主体が連携して、東部地域の里山の将来ビジョンを共有し、保全活動や活用に取り組むことで、市民全体が里山のみどりの効果を享受できている				
事業概要	①里山楽校(森林ボランティア育成事業)の開催 ②里山保全団体の支援及び意見交換会の開催 ③森づくり委員会(地権者、市民。市民団体、行政棟で構成している組織であり、津田地区・穂谷地区において設置)の開催 ④大阪府森林整備関係事業の調整(大阪府自然公園施設等の業務委託など) ⑤イベント等による里山保全の普及啓発活動の実施 ⑥枚方市東部地域里山保全基金の活用				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
ロジックモデル		里山保全に取り組むことで、里山のみどりの効果を享受し、心身ともに健康になる市民が増える。				講座等を通じて、里山保全に精通した方が里山保全に関与する。				里山保全に関する講座を実施する。				
指標設定	指標説明	東部地域の里山に触れ合う機会があることで、心身ともに健康になり安らぎを感じている市民の割合 【算出式:東部地域の里山に触れ合う機会があることで、心身ともに健康になり安らぎを感じていると答えた回答数/市民向けアンケートの回答者数】				里山保全団体への新規加入者数				里山保全に関する講座等の開催数				
														単位
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	30	31	32	33	2	2	2	2	16	8	8	8
		実績	49	46	44	44	2	4	1	3	16	6	10	8
達成度		133%				150%				100%				

		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		里山保全に取り組むことで、里山のみどりの効果を享受し、心身ともに健康になる市民が増える。	市民が里山保全に関して触れる機会が増える。				里山に関する情報発信や、里山ボランティア団体の活動を主とした、里山保全の普及啓発活動を実施。			
指標設定②	指標説明	東部地域の里山に触れ合う機会があることで、心身ともに健康になり安らぎを感じている市民の割合【算出式:東部地域の里山に触れ合う機会があることで、心身ともに健康になり安らぎを感じていると答えた回答数/市民向けアンケートの回答者数】	里山保全に関して新たに知識を得た市民の数				里山保全に関する普及啓発活動の実施数			
		単位 %	単位 人				単位 回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標(見込み)	30 31 32 33	165 200 210 220	2 4 4 4	2 4 4 4	2 4 4 4	2 4 4 4	2 4 4 4	2 4 4 4	2 4 4 4
	実績	49 46 44 44	149 0 69 154	2 0 1 4	2 0 1 4	2 0 1 4	2 0 1 4	2 0 1 4	2 0 1 4	2 0 1 4
達成度		133%	70%				100%			

3. 人員体制
(人)

	R5実績
正職員	0.90
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額
(千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	9,604	7,656	7,106		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	9,604	7,656	7,106		
歳入	物件費計	4,486	7,677	6,411	8,881	72.2%
	歳出計	14,090	15,333	13,517		
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	3,741	6,591	5,604	7,367	
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	3,741	6,591	5,604	7,367	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計(物件費に充当されるもの)	3,741	6,591	5,604	7,367	
一般財源(物件費に充当されるもの)		745	1,086	807	1,514	

5. 総括的分析

総括的分析	令和5年度においては、森林ボランティア育成講座として里山講座、植物観察会、里山保全啓発事業としてたけのこほり、森林ヨガ、里山ウォーキングの開催にあたり、募集人数を上回る応募があり、里山(自然)への関心が高まっているように思われる。今後も引き続き、里山の現状や里山保全活動団体の紹介、団体の活動状況などを広く発信していく必要がある。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	ボランティア育成事業を通して、里山保全の取り組みへの参加者の増加を図り、里山の魅力・癒しを感じてもらえるイベント等を開催していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 864

事務事業名称	農業振興課運営事務										
測定年度	2023(R5)年度			部	観光にぎわい部			課	農業振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	各種庶務事務等を正確かつ迅速に執行することで、農業振興課所管事務を適正かつ円滑で効率的に執行する。				
事業概要	課の運営事務(照会回答業務含む)				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)			アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明											
	指標種類											
	指標数値	目標 (見込み)										
		実績										
	達成度											

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,972	8,984	7,895		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	7,972	8,984	7,895		
歳入	物件費計	5,111	4,264	4,838	6,404	75.5%
	歳出計	13,083	13,248	12,733		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
歳入	府支出金	37	40	45	38	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		37	40	45	38	
一般財源（物件費に充当されるもの）		5,074	4,224	4,793	6,366	

5. 総括的分析

総括的分析	農業振興課の運営事務については、滞りなく取り組むことができた。
-------	---------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、事務の効率化を図りながら、所管事務を執行する。